

学校教育目標	・自ら学び粘り強く学習する態度を育て、基礎学力の定着をめざします。(知) ・誰もが安心して豊かに生活できる、挨拶と笑顔のあふれる学校をつくりまします。(徳・体・公) ・積極的に社会参加し、地域の人達との関わりを大切にすることを育てます。(公・開)			
	創立 78 周年 児童生徒数： 382 人	学校長 小宮 昌志 主な関係校： 瀬ヶ崎小 六浦小 六浦南小 大道小	副校長 鈴木 孝明	2 学期制 一般学級： 11 個別支援学級： 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	六浦中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈主体的な取組で問題を解決する能力〉 〈コミュニケーション能力〉 〈自分づくりに関する力〉	六浦中 瀬ヶ崎小 六浦小	○相手意識をもち、偏見や差別やいじめに対して「おかしい」と言える子の育成 ○挨拶ができる子の育成 ○主体的に学習に取り組み、自ら問いを立て自ら解決できる子の育成 ・小中ブロック、金沢ブロックでの人権研修会を実施します。 ・気持ち良い挨拶のできる子を育てるために挨拶運動に取組みます。 ・「自尊感情」「自己有用感」を育てるために、「わかる授業」「楽しい授業」を目指し、小中ブロック合同の授業研究会を実施します。

中期取組目標	1. 一人ひとりの生徒を大切にしたい分かる授業を推進し、学力の向上を図ります。 2. 人権尊重の精神を基盤とした教育を推進し、暴力や差別のない、挨拶と笑顔のあふれる学校づくりを進めます。 3. 生徒や保護者の思いを大切に受け止め、相互の信頼感と相手意識をもって柔軟な学校づくりを目指します。 4. 地域の温かさ大切さを語り継ぎ、「地域とともに歩む学校」の実現に向けて努力します。 5. 教職員が、社会的な視点・要請を自覚し、危機意識と当事者意識をもって学校運営に取り組みます。 6. 六中 6つの「あ」を実践します。(挨拶・当たり前・相手意識・安心・安全・新たな自分作り)
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 自尊感情を育てる授業づくり 担当 総務部学習指導係	①基礎基本の定着を図るために ・B規準明示、見直し振り返り・授業中の支援・AIドリルで個別最適化・生徒授業評価・校内授業研究・学習評価研修 ②学習を支える非認知能力を伸ばすために ・教科以外の学習の充実・協働的、体験的な学習を重視・YPアセスメントを活用した授業
徳 人権教育 担当 総務部人権生徒指導係	①生徒一人ひとりの人権意識と自尊感情を育てるために ・挨拶運動・人権週間の取組・金沢ブロック年間取組・校内人権研修・校内ハートフル ②生徒の背景を踏まえた深い理解に基づく組織的対応のために ・生活アンケート・YPアセスメント・学年間での毎日情報交換・SC、SSWや専門機関との連携・小学校保護者地域連携 ③誰もが安心して豊かに生活できる環境を作る ・特別支援教育研修 ・個別の支援計画・指導計画の作成・実践・振り返り ・特別支援教室の運営
体 健康教育 担当 指導部環境指導係・家庭科	①自他の命を大切にできる健やかな心と体を育てるために ・地域の方が見学する避難訓練・地域と合同での津波訓練・保健体育 ②食への関心を育て、食事の重要性を理解し、健康な食生活が実現するために ・家庭科・中学校給食・保健室だより・保健安全委員会活動
公 自分作り教育 担当 総務部学習指導係	①体験を通して生徒が主体的に進路を考え選択決定する力を育てるために ・キャリア教育推進(1年職業講話、2年職場体験、3年進路学習) ②地域の人との関わりを通して自分をみつけるために ・地域行事への参加・地域課題を解決する総合の時間(地区別会議、地域川柳等)
地域学校 協働活動 担当 総務部教務係・人権生徒指導係	小学校・保護者・地域と連携・協働して共に子どもを育てていくために ①小中連携で ・金沢ブロック年間取組・小中ブロック授業参観・小中合同地区懇・小中児童交流日・小中挨拶運動 ②保護者地域連携で ・PTAとの連携・むつうら教育支援本部との連携・学校運営協議会・学地連の取組・学校だよりや学校HP等による情報発信・地域行事を学校行事予定表に記入
いじめへの対応 担当 総務部人権生徒指導係	①いじめを絶対許さない意識を育て、いじめの起きにくい学校風土をつくるために ・問題の未然防止、早期発見、早期解決、再発防止の諸取組 ②いじめについて組織的に対応するために ・いじめ防止対策委員会毎月・生活アンケート・YPアセスメント・学年間情報交換毎日・SC、SSW、機関連携
働きやすい職場作り 担当 管理職	①職員の心理的安全を大切にするために ・ハラスメント窓口・ハラスメント研修・管理職との1on1・メンター研・人権研修 ②教育という魅力的な仕事に情熱をもって健康的にチームで携わるために ・計画年休や短時間年休や休憩時間分割を推奨・毎月定時退勤日設定・年休10日、19時退勤、時間外在校時間減目標